

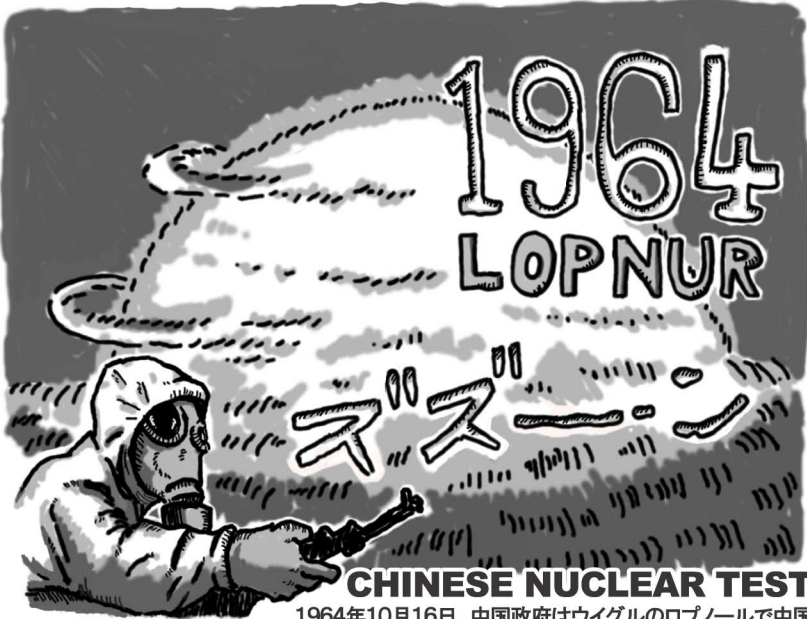
中国核実験

日本は唯一の被ばく国ではない!



アジアに自由と人権を!

©二羊力



CHINESE NUCLEAR TEST

1964年10月16日。中国政府はウイグルのロプノールで中国初の核実験を行った。日本では東京オリンピックが開催されていたその時である。中国政府は1996年まで45回の核実験を繰り返したが、第三者調査も受け入れずその実験による被害は解明されていない。



DEATH ON THE SILKROAD

シルクロードの死神



フリー!!
ウイグル

中国には六億の人民がいる。核戦争で半分死んでも半分生き残り、時間がたてばまた、六億に戻る。



中華人民共和国
初代国家主席

毛沢東



※フルシチョフと毛沢東の中ソ会談で...

中国の核実験が行われたウイグルでは奇病、癌の発生率が中国のほかの地方に比べ高く、核実験の影響によるものと考えられる。1998年の7、8月にイギリスのテレビ局チャンネル4で、「Death on the silk road(シルクロードの死神)」というドキュメンタリーが放送された。このドキュメンタリーで現地調査したのがウイグル人医師で、現在の在英ウイグル協会のアニワル・フティ氏である。

アニワル氏はチャンネル4の取材班としてウイグルの村々を訪問し、被曝によると思われる人々の健康調査を行った。中国政府は核実験の際に、内地に影響が少なくなるよう、東から西に風が吹くときを選んで行った。このため、ロプノールから西に向けて核生成物質が大量に降下したと考えられる。

実際に、口唇口蓋裂ばかり、あるいは大脳未発達の赤ちゃんばかりが生まれてくる村もあったという。中国は核実験の被害を公表せず、現地調査も許可しないため、40年以上に渡って被曝者たちの存在は放置されたままだ。

※「Death on the silk road(シルクロードの死神)」上映会やDVDの貸し出しについては日本ウイグル協会にお問い合わせを。

<http://uyghur-j.org>



DEATH ON THE SILK ROAD